

強力床材剥がし機
フロアペッカー S

型式 SM - K 0 0 1

取扱説明書

安全にお使い頂くために、ご使用前
に必ずお読み下さい

この度は強力床材剥がし機「フロアペッカー S」をお買い上げ頂きありがとうございます。
この取扱説明書は本製品を安全にお使い頂くための事柄を記載しています。
ご使用前に本書を最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。また、
本書はいつでも利用できるよう大切に保管して下さい。

お使いになる前に

本機をご使用になる前に、下記の付属品が揃っていることを
ご確認下さい。

- | | | |
|---------------|---------------|----------------------|
| ・剥がし機本体 | ・グリス | ・両口スパナ (13mm × 17mm) |
| ・取扱説明書(本書) | ・グリスポンプ | ・スパナ(アイドラー用) |
| ・インテリア機器登録カード | ・刃物継ピース (小2個) | ・六角レンチ (3mm) |
| ・替刃 / 普通刃 | ・刃物カバー | ・六角レンチ (5mm) |
| ・替刃 / シート刃 | ・工具袋 | ・六角レンチ (6mm) |
| ・替刃 / 強力刃 | ・十字ドライバー | ・延長コード |

品質には万全を期しておりますが、万一、不足や運送中の破損
等があった場合は、速やかに弊社までご連絡下さい。

目 次

安全上のご注意・・・・・・・・・・ 1~2

全体外観図及び各部名称・・・・・・・・ 3

作業準備

作業前確認・・・・・・・・・・ 4

ハンドル調整・・・・・・・・・・ 4

移動時・運搬時の操作方法・・・・ 4

吊り下げ運搬方法・・・・・・・・・・ 5

伸縮アンテナの調整・・・・・・・・ 5

刃物の取付・・・・・・・・・・ 6

刃物の角度調整・・・・・・・・・・ 6

床材剥がし作業・・・・・・・・・・ 7

保守点検

ベルト調整と取り替え・・・・・・・・ 8

グリスの給脂・・・・・・・・・・ 8

刃物の研磨・・・・・・・・・・ 9

継ぎピースのセット・・・・・・・・ 10

過負荷遮断機構・・・・・・・・・・ 11

トラブルチェックフロー・・・・・・・・ 12

仕 様・・・・・・・・・・ 13

安全上のご注意

フロアペッカーSをご使用頂くには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。以下の一般取扱注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上で作業を行って下さい。この取扱説明書では、取扱いを誤った場合に発生が予想される危害・損害に対する注意事項を、その程度により △[警告] △[注意] [メモ] という項目に分類して表示しています。

△ [警告] . . . この表示を無視して誤った取扱いを行うと、重大な事故につながるおそれのある注意事項を示しています。

△ [注意] . . . この表示を無視して誤った取扱いを行うと、機械の破損・故障につながるおそれのある注意事項を示しています。

[メモ] . . . これを知っておくと便利という補足事項を示しています。

運搬時



搬入・搬出および移動時は必ず刃物を外して下さい。



車への積み降ろしはウェイトを外し必ず大人2名以上で行って下さい。また、ハンドルを持っての積み降ろしは行わないで下さい。万一、ハンドルが抜けた場合に危険です。

保管時



水平な場所に保管して下さい。



保管時は必ず刃物を外して下さい。



高温・多湿な場所に保管しないで下さい。



刃先カバーのある刃物は、必ず刃先に刃物カバーを取り付けて、布袋・箱等に入れ保管して下さい。

安全上のご注意

作業時



本機はAC100V用です。AC100V以外の電源では使用しないで下さい。発電機を使用する場合は、4.5kVA以上の電源容量のある物を使用して下さい。



昇圧トランスを使用する場合は15A以上の物を使用して下さい。



煙が出ている、変なにおいがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機械本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



作業時は本機の上に人が乗ったり刃物前方での作業を行わないで下さい。



作業によっては多くの粉塵が発生することがあります。その場合には防塵マスクを着用して下さい。



作業前あるいは現場毎のように定期的なグリスアップを行って下さい。グリスは付属品もしくはリチウム系グリス#0を使用下さい。

その他



床材の剥がし作業以外の時は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。

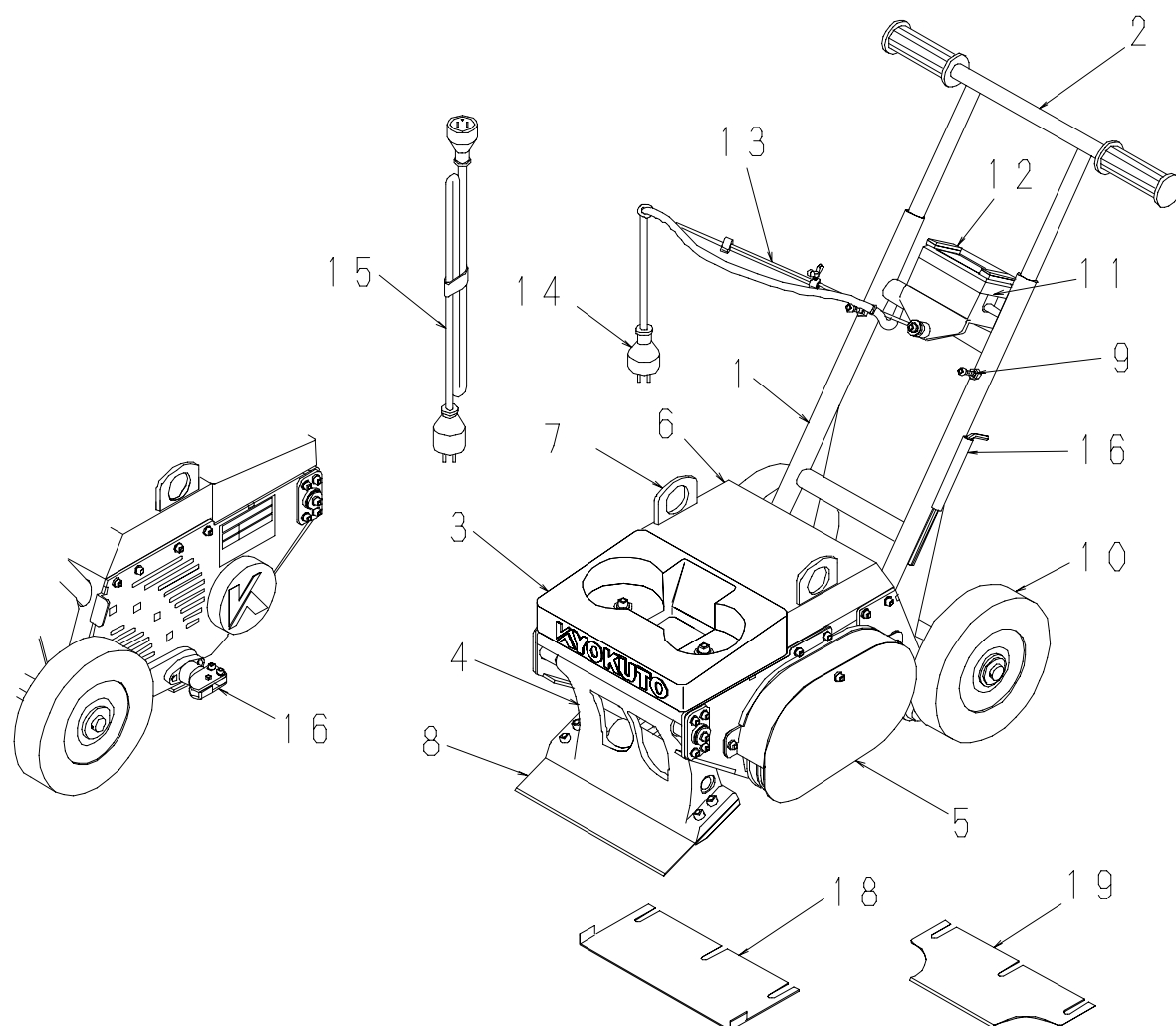


電源プラグを抜く際は電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。



定期的に各部のネジは増し締めを行って下さい。

全体外観図及び各部名称



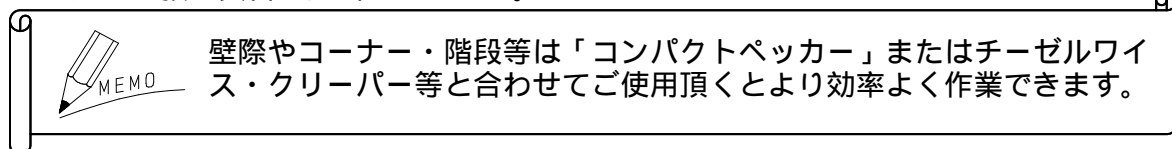
- | | |
|---------------|----------------|
| 1 . 固定ハンドル | 11 . スイッチ |
| 2 . 調整ハンドル | 12 . スイッチ部保護板 |
| 3 . ウェイト | 13 . 伸縮アンテナ |
| 4 . 刃物ブラケット | 14 . 電源プラグ |
| 5 . ベルトカバー | 15 . 延長コード |
| 6 . カバー | 16 . 角度調整レバー |
| 7 . 吊フック | 17 . 六角レンチホルダー |
| 8 . 普通刃 | 18 . シート刃 |
| 9 . ハンドル調整ボルト | 19 . 強力刃 |
| 10 . 車輪 | |

作業準備

作業前確認

作業前には必ず下記の点を確認の上ご使用下さい。

- AC100V(±10%)、15A以上の電源が確保できる工事現場であること。
- アース(D種接地)を接地させていること。
- 刃先部分がきれいに研がれていること。
- 各部の取付ネジに緩みがないこと。
- ベルトの張り具合が適当であること。



ハンドル調整

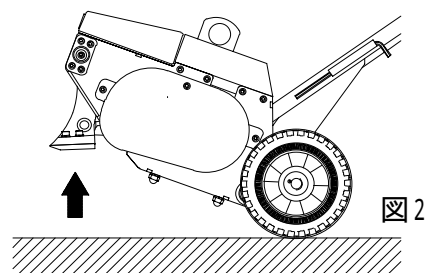
- [1] ハンドル調整ボルトを緩め、調整ハンドルを適当な位置に引き出して下さい。
- [2] ハンドル調整ボルトを締め込み、調整ハンドルをしっかりと固定して下さい。



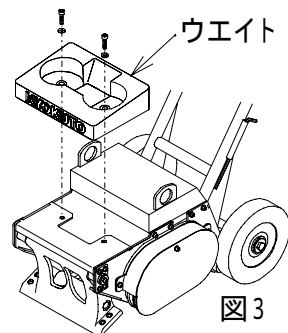
ハンドル調整ボルトは、きつく締め付けて下さい。
作業中も緩んでいないか時々確認しながら使用して下さい。

移動時・運搬時の操作方法

- [1] 移動の際は、スイッチがOFFになっている事を確認し、刃先を浮かせた状態で移動して下さい。(図2参照)



- [2] 車への積み降ろしや運搬の際は、本体前部に六角穴付ボルトで取付いているウエイトを取外し(図3参照)、大人2人以上で積み降ろしを行って下さい。ただし、吊りフックを利用する場合はウエイトを外す必要はありません。(P5参照)



ハンドルを持っての積み降ろしは行わないで下さい。
万一、調整ハンドルが抜けた場合に危険です。

作業準備

吊り下げ運搬方法

本機は吊りフックによる運搬が可能です。

- [1] 吊りフックに吊り具を掛けて、安全を確認しながら吊り上げます。(図4右側参照)

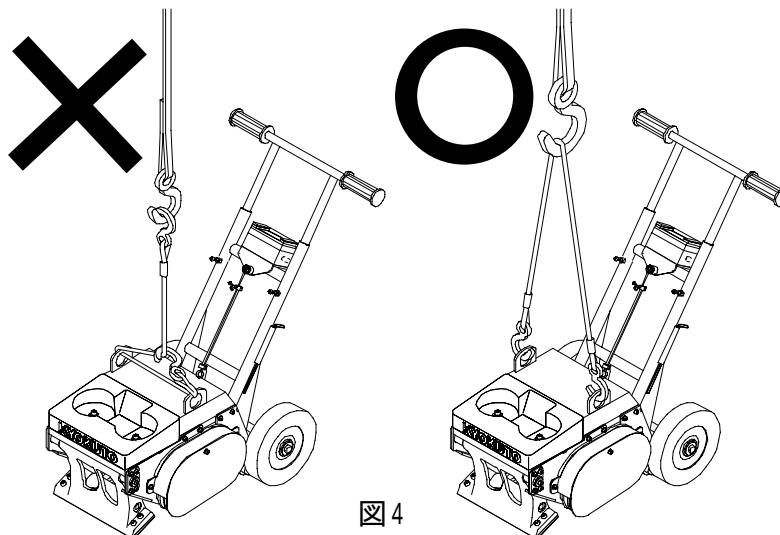


図4



警告

吊り上げられている本機の下には絶対に入らないで下さい。



注意

吊り具を吊りフック以外の場所に掛けたり、図4左側のように吊りフックに誤った掛け方をすると機械が破損する恐れがあります。

伸縮アンテナの調整

- [1] 伸縮アンテナを作業に合わせ必要な側に回します。
[2] 蝶ボルトを左に回して緩めます。
[3] アンテナの長さを調節します。
[4] 蝶ボルトを右に回して締めます。

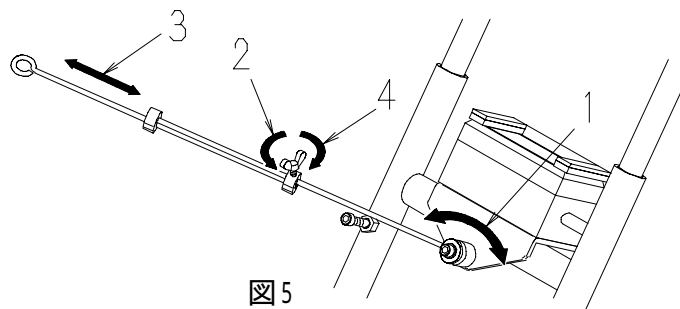


図5

作業準備

刃物の取付け

[1] 刃物ブラケット部を浮かせて下さい。(図 6 参照)



取付作業中はハンドルを人がしっかりと支えて固定して下さい。

警告

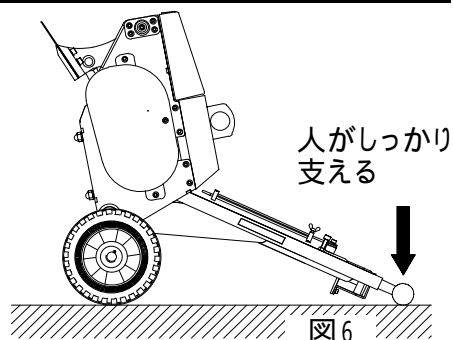


図 6

[2] 刃物の研磨面を上向きに奥まで差し込みます。(図 7 参照)

ただし、下地がコンパネ等の刃先が食い込みやすい素材の場合は研磨面を下にして取付けて下さい。



摩耗して短くなった刃物は継ぎピースを使用して下さい。
P 1 0 参照

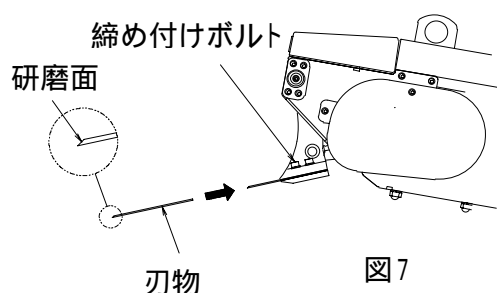


図 7

[3] 4本の締め付けボルトをしっかりと締め込みます。



- ・刃物は奥まで差し込み、ボルトは強く締めて下さい。
- ・作業中は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。

警告

刃物の角度調整

[1] 刃先を床につけ、車輪を浮かせて下さい。(図 8 参照)

[2] 1. 六角レンチを角度調整レバーの穴に入れます。
2. 矢印側に回転させるとピンが抜け、車輪ハンドルがフリーになります。
3. ハンドルを好みの角度に変更し、その後に手順 2・1 を逆に行い固定します。
(図 9 参照)



刃物を立てるほど床材・下地に食い込みやすくなります。

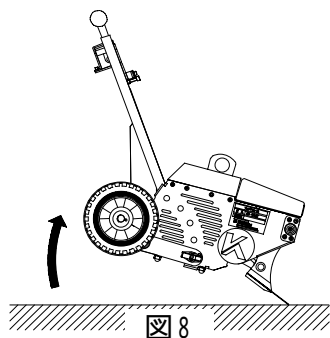


図 8

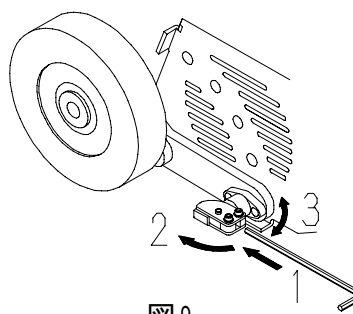


図 9

床材剥がし作業

- [1] AC100V、15A以上のコンセントにプラグを差し込みます。
- [2] 刃先を床から浮かせた状態（図10参照）でスイッチをONにします。
- [3] 刃先の振動が一定状態になった事を確認し、ゆっくりと刃物を床面の中に食い込ませます。刃物が食い込まない場合は、刃物の角度調整（P6参照）に従って調整を行って下さい。
- [4] 刃先が床材と床下地の間に食い込んだのを確認し、床材の剥がれ状況を見ながら、前方に押しして行きます。
刃物が床下地に食い込みすぎる場合には、刃物の角度調整（P6参照）に従って調整を行って下さい。

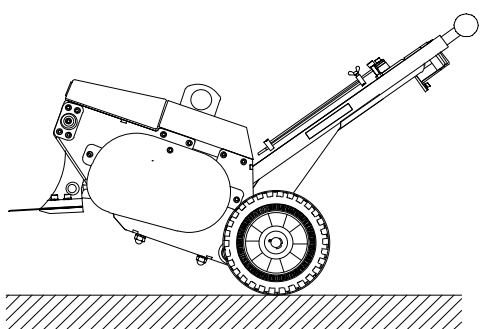


図10

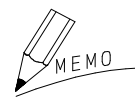


図11



振動により機械が後退してくることがありますが、片足をハンドルの付け根付近に置いて、図11のように足で突っ張りながら刃物を床に押しつけると、機械の後退を抑えられます。

- [5] 床材の剥がれ具合が悪くなった場合は、新品もしくは研磨した刃物に取り替えるか、取付刃物を研磨して下さい。



本機には普通刃の他に2種類の刃物があります。床材の種類、床下地の状況、接着剤の度合いに合わせて刃物を使い分ければ、より効果的に作業ができます。

- 強力刃 : 頑固に接着している床材剥がしに適しています。
- シート刃 : CFシート等の長尺床材剥がしに適しています。
- 普通刃 : 一般的な床材剥がしに適しています。



注意

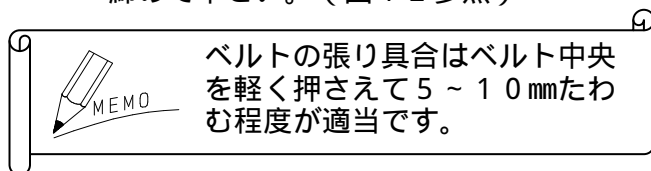
モーターに何らかの過負荷がかかっている場合や工事現場の電圧が低下している場合には過負荷遮断機構が作動する事があります。過負荷遮断機構が作動している場合はP11に記載の要領で復帰させて下さい。

- ・過負荷がかかっている場合は、過負荷の原因を取り除いてから、再使用して下さい。
- ・電圧が低下している場合は、昇圧器で適正な電圧に昇圧して下さい。コードリールや延長コード等を使用している場合は、電圧が低下する事がありますのでご注意下さい。

保守点検

ベルトの調整と取り替え

- [1] ベルトカバーを外して下さい。
- [2] テンションボルトを緩め、適当なベルトの張り状態にして、テンションボルトを締めて下さい。(図12参照)



- [3] ベルトカバーを取り付けて下さい。

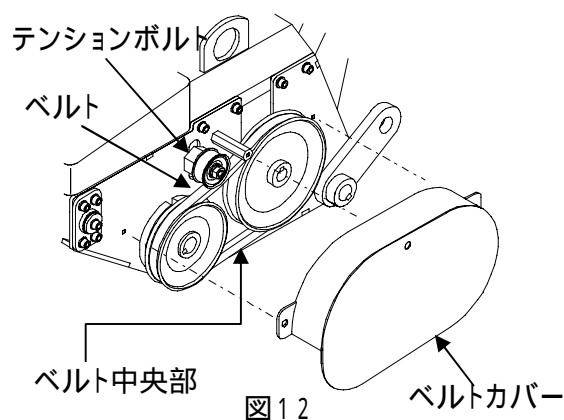


図12



警告

作業中は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。



注意

ベルトに損傷がある場合は必ず新しい物に取り替えて下さい。

グリスの給脂

- [1] ウェイトを外して下さい。(P4 図3参照)
- [2] グリスニップルにグリスガンで給脂して下さい。(図13参照)
- [3] ウェイトを取り付けて下さい。

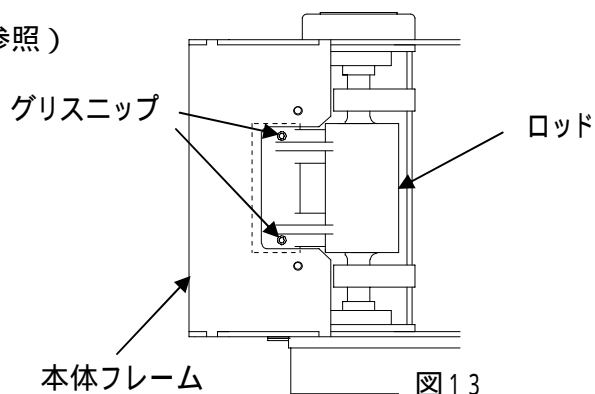


図13



警告

作業中は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。



注意

作業毎あるいは現場毎のように定期的なグリスアップを行って下さい。
グリスは付属品もしくはリチューム系グリス#0を使用下さい。

保守点検

刃物の研磨

剥がれ具合が悪くなった刃物は、図14に示すようにグラインダー等で刃先を研磨して下さい。

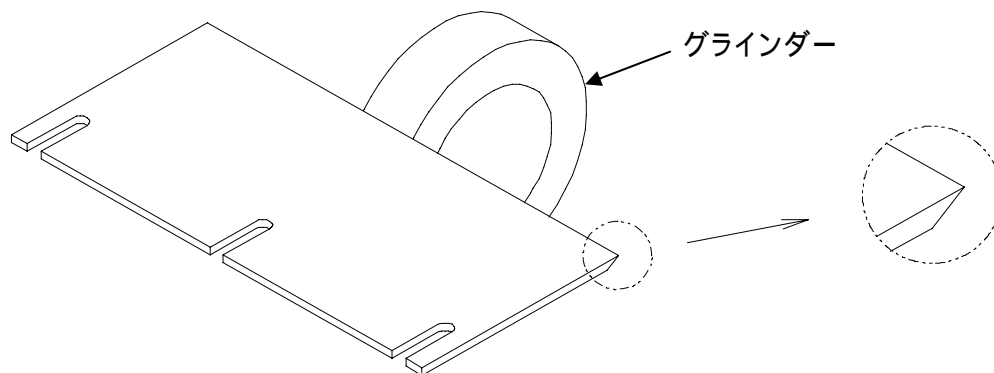


図14



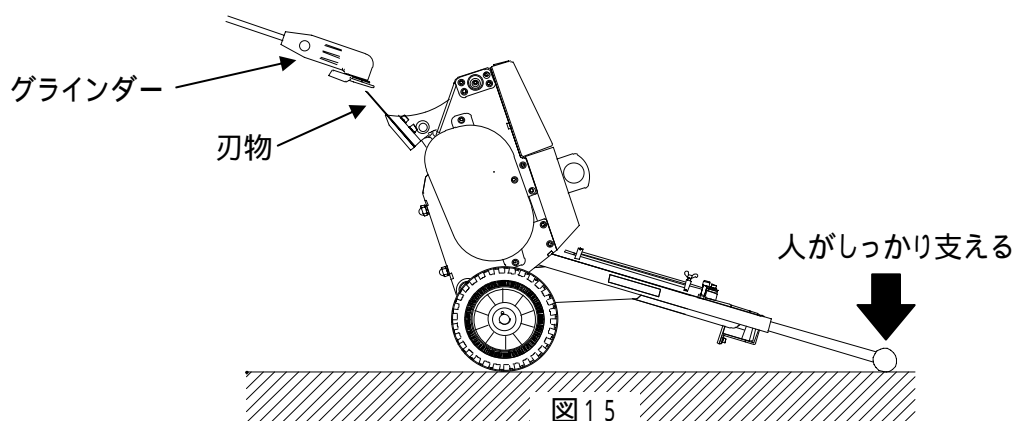
研磨時は必ず保護メガネ等の保護具を着用して下さい。



刃物が短くなった場合は、早めに新しい刃物と交換して下さい。



新しい刃物や再研磨した予備の刃物がない場合は、図15のように刃物を取り付けたままディスクグラインダーで研磨する事も可能です。但し、作業の際はハンドルを人がしっかりと支えて固定して下さい。



作業中は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。

継ぎピースのセット

- [1] 摩耗して短くなった刃物は継ぎピースをセロハンテープ等で刃物に固定して使用して下さい。(図16参照)

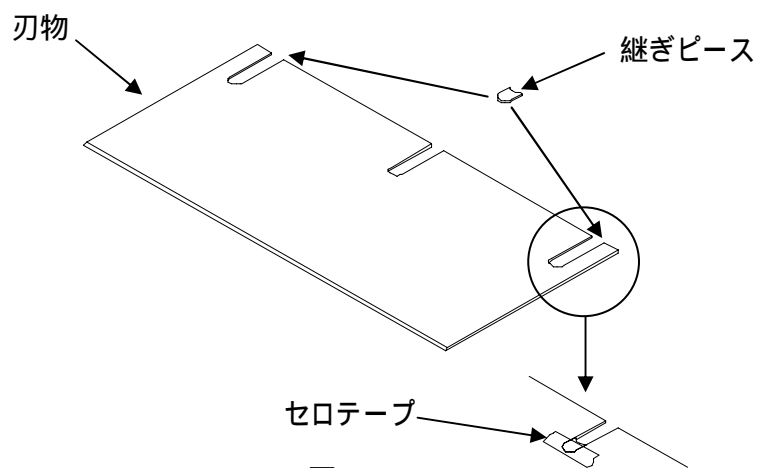


図16



継ぎピースを使用しても使えなくなった短い刃物は新しい刃物に取り替えて下さい。

過負荷遮断機構

本機には過負荷遮断機構がスイッチに内蔵されています。
作業中に過負荷（定格電流 9 A 以上）になると自動的に電流が切れますので、作業を再開されるには過負荷の原因を取り除きスイッチを ON にして下さい。
過負荷の原因を取り除いても度々過負荷遮断機構が働く場合は、遮断機構の設定値を変更して下さい。（図 17 参照）

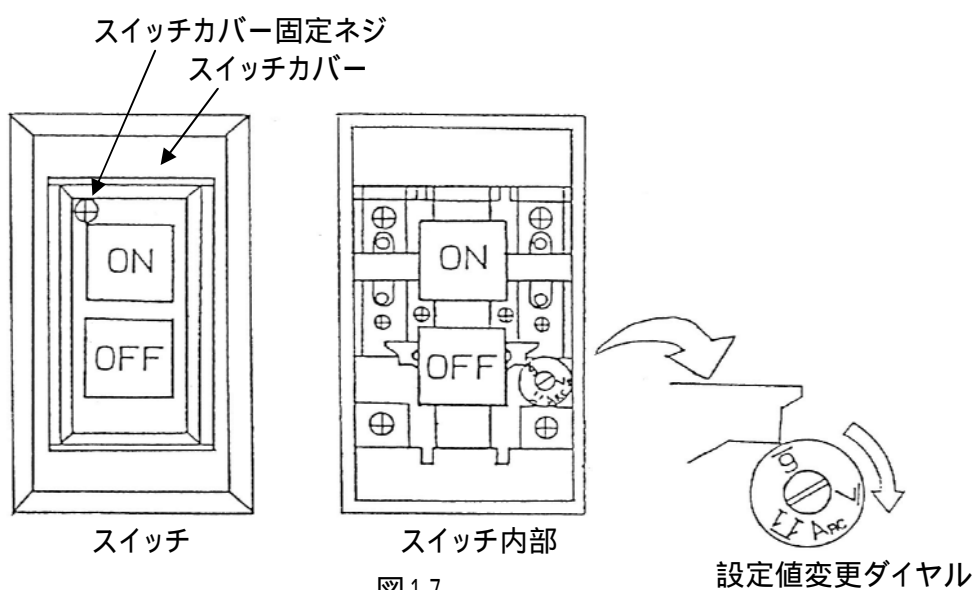


注意

- ・コードリールや延長コード等で電線を延長して電圧が低下している場合に過負荷遮断機構が働く場合があります。この場合には電線の延長をやめ、本機の電源プラグを直接コンセントに差し込んで下さい。
- ・工事現場の電源電圧自体が低下している場合には、昇圧器（別売）を利用して電圧を AC 100 V に昇圧した後にご使用下さい。

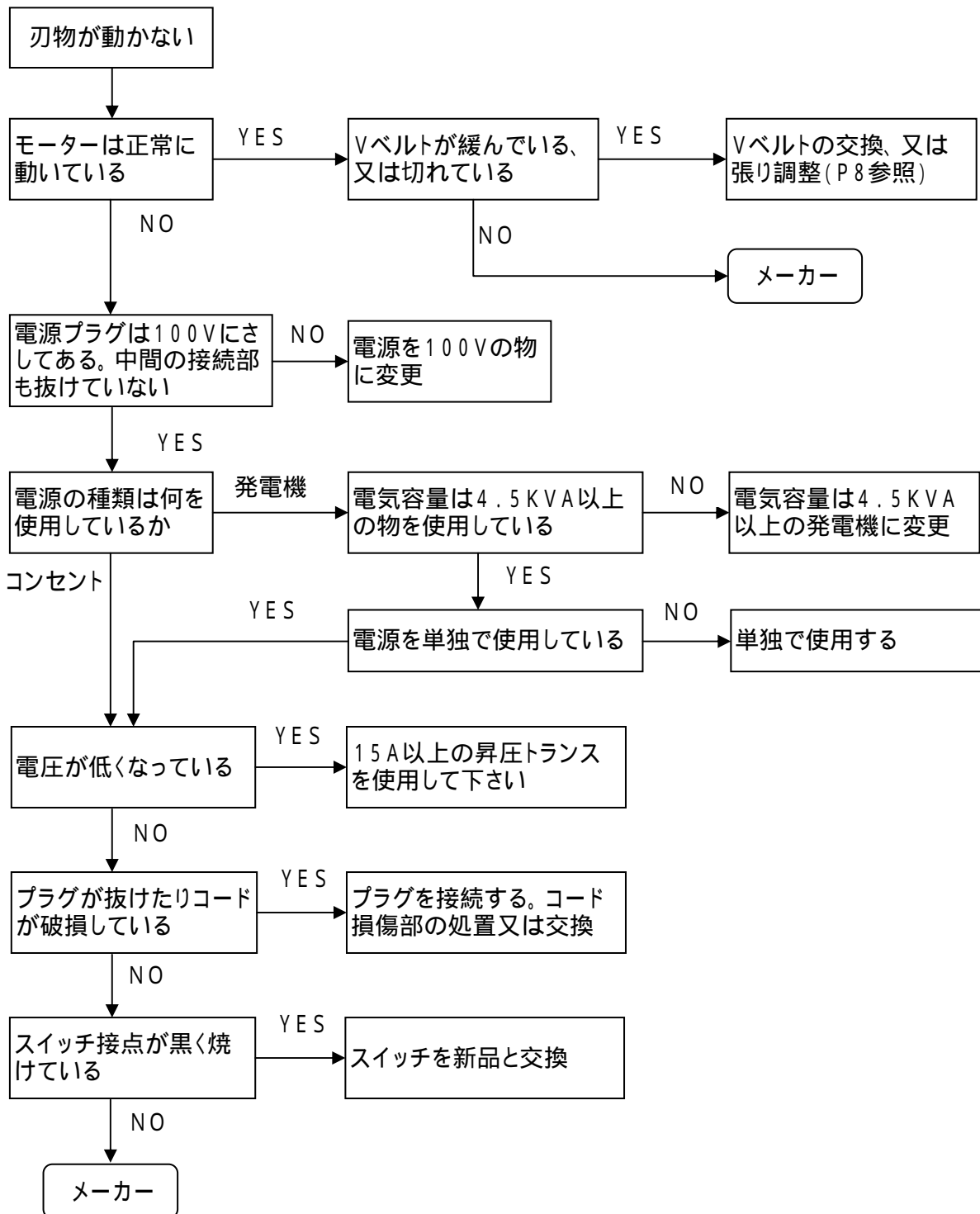
設定値の変更

- [1] スイッチが OFF になっている事を確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- [2] スイッチ部保護板を外し、続いてスイッチカバー固定ネジを緩め、スイッチカバーを外して下さい。
- [3] スイッチ内部にある設定値変更ダイヤルをマイナスドライバーで右に回し、設定値を変更して下さい。
- [4] スイッチカバーおよびスイッチ部保護板を取り付けて下さい。



トラブルチェックフロー

本機に異常が生じた場合は、下記のトラブルチェックフローに従ってチェックし、対処して下さい。「メーカー」に行き着いた場合は、お求めになられた販売店または弊社までご連絡下さい。



仕 様

| | |
|--------|--|
| 製品コード | 0 5 2 - 0 0 4 9 - 0 0 |
| 全長 | 7 2 0 mm (ハンドル下降時) |
| 全高 | 6 1 0 mm (ハンドル下降時) |
| 全幅 | 4 8 0 mm |
| 全質量 | 7 0 . 0 k g (ウエイト : 1 1 . 5 k g 含む) |
| モーター | A C 1 0 0 V , 5 5 0 W 全閉外扇モーター 9 . 4 A (5 0 H z) 8 . 2 A (6 0 H z) |
| 刃先振動数 | 1,9 5 7 m i n ⁻¹ (回/分) 5 0 H z 2,3 4 8 m i n ⁻¹ (回/分) 6 0 H z |
| 刃幅 | 2 7 0 mm (普通刃) 2 8 0 mm (シート刃) 1 5 0 mm (強力刃) |
| 絶縁抵抗値 | 1 0 0 M 以上 |
| アース設定 | アース付きプラグ使用 (延長コード側はポッキングプラグ) |
| 2重絶縁構造 | 未設定 |

製品仕様は改良等のため、予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先

インテリア機器の総合メーカー



極東産機株式会社

〒679-4195 兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL <http://www.kyokuto-sanki.co.jp/>

お客様相談室 0120-079177 (土・日・祝日を除く 10:00~18:00)